

# 議事録



テーマ	大阪協会 平成30年11月理事会	No.	
日時	平成30年11月21日(水曜日)	19:00 ~ 20:30	
場所	大阪産業創造館 6階会議室		
出席者	参加 32クラブ (欠席 1クラブ)		
資料			

## 内 容

### ■協会長挨拶

- 皆さんこんばんは、10月は協会行事が続きましたが、事故も無く無事に終えることができました。ありがとうございました。ここ数日はすっかり冬らしい気候となり、朝晩の冷え込みも大きくなってきました。釣りに行かれる時は防寒対策をしっかりと行っていただき、体調を崩さないよう注意してください。

### ■第150回 協会秋季大会成績発表および賞品授与について (事務局)

- 指定8会場にて184名の参加で開催されました。成績については、滋賀投友会の須藤さんが104.6cmで優勝、2位がヤングサーフの疋田さん102.5cm、3位は滋賀投友会の片岡さん95.9cmでした。また、団体優勝は2名合計が200.5cmで、滋賀投友会さんが優勝されました。

他魚の部は、西大阪サーフの永沢さんがスズキ70.8cmで優勝されました。

《拍手》

大会入賞者については本賞20賞、他魚3賞、ラッキー賞10賞で、それぞれの入賞者に対し賞品が配布された。

### ■連盟常任理事会報告 (池田協会長)

- 第108回全日本キス投げ釣り選手権大会収支報告について、余剰金が62,011円発生し、収支報告の承認後、連盟会長が管理する余剰金口座に振り込まれました。
- 第41回東西投げ釣り選抜100人の会収支報告について、前期繰越金238,911円に対し、次期繰越金が178,504円でした。繰越金が減少した理由は、太平洋側での開催は宿泊施設が少し高くなるため、来年度開催予定地のあわら市は、宿泊代が安価となるので、予算的には楽な運営ができる予定です。
- 全日本キャスティング選手権大会成績について、参加者は12協会71名でした。当日は風が悪く、期待された日本記録は残念ながら出ませんでした。
- 第109回全日本カレイ投げ釣り選手権大会について、申請会場のうち、No.27丸亀会場が申込数不足で閉鎖となり、申込をされた方には他の会場(高松会場)に移っていただきました。総申込者数は1149名で参加率は54%となりました。
- 事故防止規定の改定案について、改定内容案については、事務局より各クラブ会長にメールで送信しますのでクラブ内でご確認いただき、ご意見をきかせて下さい。
- 災害義援金について。皆さんにご協力いただいた義援金の総額は、16協会で1,534,000円となりました。また、被災された協会は調査表により、大阪、広島、岡山の3協会に24名の方より被害の届け出がありました。協議の結果、被災会員24名(大阪協会12名、広島協会6名、岡山協会6名)の中で、岡山協会の方1名が行方不明となっておられ、その方に100,000円をお見舞金として配分し、残りの金額を23名で均等割りする案が、賛成多数により決定しました。
- 年間大物集計について、大物集計の案内を各協会の大物担当者に送付していますので、提出期限を厳守するようお願いいたします。また、新人賞ですが、規定に当てはまる新人の方が少ない状況であるため、各協会に新人の方に頑張ってくださいよう要請をお願いします。
- キス段位決定者の申請が4名届いていますが、全体的に級位・段位の申請件数が少ないようです。各協会に段位制の普及に取り組むよう周知をお願いします。

■第8回大物名人戦について（湯浅大物部長）

- 申し込み集計を行った処、有資格者95名に対し58名の申し込みがありました。（昨年46名）実施要綱については協会HPに掲載されていますので参照願います。今年の変更点については会場が和歌山～三重となっていますので注意してください。また、台風が新たに発生していますのでご注意ください。集合場所は、阪和自動車道の下り線印南パーキングです。

■大阪・兵庫合同納竿大会審査について（湯浅大物部長）

- 今年は大阪協会がPJ担当となっていますので、審査（検寸）の協力をお願いします。大正サーフ、セントラルキャストーズ、泉陽サーフ、大阪釣友サーフ、東大阪拓研サーフ、大阪アングラーズ、北斗サーフ以上7クラブをお願いします。

■連盟新年総会について（池田協会長）

- 連盟新年総会への案内状ですが、郵送と本日お渡ししましたが、届いていないクラブはありませんか。議決権があるのは在籍10名以上のクラブですが、在籍10名以下でも案内状が届くようになってはいるはずですが、案内状の届いていないクラブがあるようなので、後日、連盟に確認を取り、再度連絡させていただきます。新年総会への出席は、どのクラブでも出来ますので出席を宜しくお願いします。

■全日本SC選手権大会成績について（小山SC部長）

- ST-C種目で、貝塚サーフ外山さんが3投平均166.60mで優勝されました。また、4種目で、貝塚サーフの赤石さんが3投平均168.23mで準優勝されました。

■キス段位制申請について（大阪サーフ伊達）

- 先程協会長の連盟常任理事会での報告にもありましたが、キス段位制への申請が少ないので、本日申請締切りですが、ポイントのある方は12月2日までに申請をいただければ、連盟に申請しますので宜しくお願いします。

■本年度の魚拓申請について（湯浅大物部長）

- 例年通り12月10日の釣魚が最終となりますので、12月9日の納竿大会での釣魚は含まれます。それ以降に釣れた魚は来年度まわしとなります。12月10日までに記録魚が釣れた場合は、12月理事会にて提出するようお願いいたします。

■災害義援金の配分について（池田協会長）

- 先程、連盟常任理事会の報告でもお話しましたが、大阪協会ではあまり大きな被害は無いと思っていましたが、調査結果では被災者数がいばん多かったです。台風21号で被害に遭われた方に見積もりを取っていただきました。ただし、修理にあたる業者も忙しく、未だ見積もりが上がっていない方も3名おられます。被害総額は見積もりが上がっていない方を含め、約2,079万となっています。協会からの配分額が1人62,347円で、被災者12名で748,171円となります。配分方法について、皆さんの意見をお聞きしたいと思います。因みに12名均等割りすると、一人62,347円となります。何か意見はありませんか？

分配金を被害額で割るといい意見が良いと思うのですが、気になるのが分配金を総被害額で割ると、定数が0.036で、これで計算すると、被害の一番大きい方に見積額が約700万円なので、分配金は約25万円となります。岡山で行方不明の方には10万円の配分が決まっており、行方不明の方より家の被害の方の配分が多くなります。仕方が無いとは思いますが、少し気になります。被害に合われた皆さんに少しでも役立てていただけるよう配分したいと思っています。連盟の会議でも議論したのですが、あくまでも見舞金としてお渡しするというのが趣旨です。被害の大きな方も小さな方も居ますが、一番平等な配分は、被害額に応じた配分だと思います。ご理解をお願いいたします。

ご賛同いただけますでしょうか。

《拍手》

それでは、被害額に合わせた分配方法とさせていただきます。

被害に遭われた方に出来るだけ早く見舞金をお渡ししたいので、被災者で見積もり未提出の方は早急をお願いします。

以上